

研究課題名	実臨床における、進行・再発卵巣癌に対するペバシズマブの有効性と安全性
研究の意義・目的	2013年11月に本邦においてペバシズマブ（アバスチン）の卵巣癌に対する効能・効果追加が承認されました。当科の実臨床におけるペバシズマブの進行・再発卵巣癌（卵管癌、腹膜癌を含む）の方に対する有効性と安全性を検討することが目的です。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日～2023年12月
研究協力をお願いしたい方（対象者）	大阪市立大学医学部附属病院の婦人科で、2008年1月～2013年4月に卵巣癌、卵管癌、腹膜癌の診断で腫瘍減量術後に抗がん剤治療を行った方、2014年4月～2020年12月に卵巣癌、卵管癌、腹膜癌の診断で腫瘍減量術後にアバスチンを含んだ抗がん剤治療を行った方、2016年4月～2020年12月に再発卵巣癌、卵管癌、腹膜癌の診断でアバスチンを含んだ抗がん剤治療を行った方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、治療内容（手術日、手術内容、抗がん剤治療内容）、画像検査（MRI、CT）の結果、治療効果、再発確認日、最終生存確認日、死亡確認日、治療中に発生した有害事象の種類と程度、血液検査結果】
試料・情報を利用する者の範囲	この研究は大阪公立大学医学部附属病院婦人科のみで行います。
試料・情報の管理について責任を有する者の研究機関の名称	公立大学法人大阪、大阪公立大学医学部附属病院
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 女性病態医学 （担当者氏名）福田 武史 電話番号：（06）6645-3862 メールアドレス：tfukuda@omu.ac.jp